

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街』

重点課題3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

< 施策の基本方針 >

さっぽろのブランド力をさらに向上させるため、札幌市立大学をはじめとした研究機関が持つ知の資産と産業を結び、デザインやバイオの分野などで札幌らしい特色ある新産業を育成し、スイーツなどの食品関連産業とともに国内外に発信します。また、平成27年までにIT・コンテンツ産業売上高1兆円を目指し、人材・企業を育成し、映像を中心としたコンテンツ分野の取引の拡大を図るとともに、IT関連企業などを積極的に誘致します。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 891,856千円 / (計画事業費) 2,047,500千円 : 43.6%

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興
 ・「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」において、スイーツコンペティション、スタンプラリーのほか、さっぽろスイーツのPR事業を実施。
 また、札幌のスイーツを切り口とするイベントとして新たに「さっぽろオータムスイーツファンタジー」を大通公園で開催(平成19年9月7日～9日)。
 【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大
 ・ショートフィルム等のコンテンツを年間通じて取引が行える「さっぽろコンテンツマーケット」の構築に向けた調査を実施。
 ・IT・バイオ産業のビジネスマッチング(横浜)、バイオ産業のビジネスマッチング(神戸・大阪)を開催。

【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致
 ・企業訪問や首都圏での展示会への出展等、誘致事業を実施し、IT企業2社、コールセンター4社を新たに誘致。

20年度(予定)

【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興
 ・北海道の食や観光などの発信拠点機能を強化するため、民間主体の運営による北海道産品を取り扱うアンテナショップ設置に向け、設置場所等の調査や運営事業者の選定等を実施。
 ・「さっぽろオータムスイーツファンタジー」は「さっぽろオータムフェスト2008」と同時期に開催予定。
 【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大
 ・「アイコモンズサミット2008」の開催。
 ・年間通じて商取引が可能な「さっぽろコンテンツマーケット」システムを構築し、9月から取引を開始。
 ・全国のバイオ関連企業を集めた全国バイオビジネスマッチングin札幌2008を初めて開催。
 【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致
 ・引き続き積極的な誘致事業・人材育成事業を実施し、札幌の特性を活かした誘致・振興を図る。

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加
 ・「食のまち」札幌の推進：スイーツ王国さっぽろ推進協議会を中心にスタンプラリー等市民参加型事業を展開し、さっぽろオータムスイーツファンタジーでは3日間で27,000人の来場者があり、食ブランドの推進を市民参加により実現している。
 企業等との連携・協働
 ・さっぽろコンテンツマーケット創出事業：事業の趣旨に賛同する大学から特許技術の利用料についての減免措置を受け、さらに地元企業から、システム構築費の一部負担があるなど、企業等との連携・協働によるシステム構築を進めている。
 市民・企業等が参加しやすい環境づくり
 ・札幌スタイル推進事業：イベント情報等を広くPRし、参加を促すとともに、市民が作るウェブシティさっぽろと連動したHPの作成、年間30万人来場するJRタワーへの札幌スタイルショップ移転等、市民や企業等が参加しやすい環境づくりに努めている。

評価(成果)と課題

【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興
 ・スイーツ王国さっぽろ推進協議会等と一体となった取組により「スイーツの街・さっぽろ」の実現、食関連産業の活性化に貢献している。
 ・さっぽろオータムスイーツファンタジーでは、3日間で27,000人の来場者があり、好評であった。
 北海道の食資源を活用した「札幌の食」等を都市ブランドとして確立し、競争力のある外需獲得型産業へ育成することが課題。
 【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大
 ・アイコモンズ・サミット誘致に成功し、同会議の開催や普及活動を通じて、コンテンツ産業の振興が期待できる。
 ・関東・関西地域と連携して、市内バイオ関連企業に商談の場を提供することで、市内企業の利益に資することができた。
 利益率の低い受託業務が主となっている市内の受託型企業が、より大型で、より利益率の高い業務を受注できる支援を強力に進めていく必要がある。また、北大を中心に活発化している研究開発を事業化・製品化へ結び付けることが大きな課題であり、開発型企業に対する魅力ある製品化の支援とともに、販路開拓等における支援を展開していく必要がある。
 【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致
 ・平成19年度はIT・コンテンツ・バイオ産業で2社、コールセンターで4社が新たに札幌に立地したことに伴い、雇用の改善や市税収入の増加等、地域経済の活性化が図られた。
 多くの自治体が企業誘致事業を展開しており、他都市との差別化を図った企業誘致施策を進めていく必要がある。

今後の重点取組

・生産や加工、販路開拓の各過程における支援事業間の連携が希薄であることから、生産から販路開拓までの総合的な支援施策を確立し、競争力のある外需型産業の育成を目指す。
 ・利益率の高い案件や大型の案件を受注するための仕組みづくりを進めるため、首都圏企業等とのマッチングの強化を図るとともに、受託に頼らない、より利益率の高い自社開発型企業への転換を見据えた支援プロセスの検討を早急に実施する。
 ・進出予定企業等のニーズを的確に把握し、支援策の充実を図るとともに、将来を見据えて本市の優位性を活かした企業誘致施策を検討していく。

主な達成目標の状況

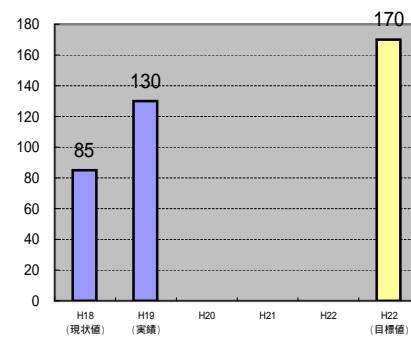
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数	170社(H22)	85社	130社
スイーツマルシェ出展数	25店(H22)	20店	17店
スイーツマルシェ集客数	500人(H22)	350人	200人
(札幌スタイル)認証製品数(累計)	100件(H22)	56件	56件
販路拡大支援事業への首都圏参加企業数	200社(H22)	94社	148社
ビジネスマッチングの来場者数	800人(H22)	427人	513人
IPビジネス研究会への参加企業数	50社(H22)	-	15社
取引可能な映像作品等の集積本数(累計)	10,000本(H22)	1,500本	3,850本
ロケーション(延べ)撮影日数	500日(H22)	236日	152日
(高度情報通信人材育成・活用事業による)市内IT企業への就業者数	100人(H22)	72人	92人
(新産業育成推進事業)補助金交付件数(累計)	10件(H22)	2件	4件
北海道大学特許出願数	400件(H22)	271件	314件
(さっぽろバイオクラスター構想推進事業による)クラスター形成数	50社(H22)	-	32社
(企業誘致促進事業による)誘致企業数(累計)	15社(H22)	-	2社
(雇用創出型ニュービジネス立地促進事業による)事業所開設数(累計)	60社(H22)	39社	43社

主な施設・サービスの整備水準

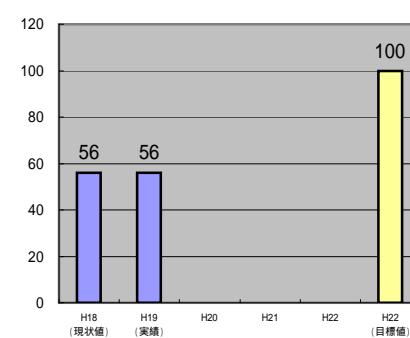
該当なし

成果指標等の動向

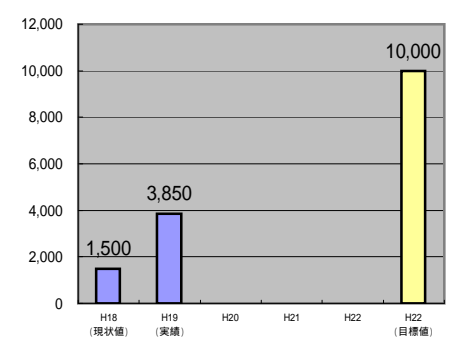
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数(単位:件)



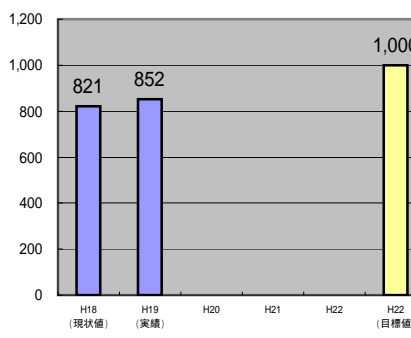
札幌スタイル認証製品数(単位:件)



取引可能な映像作品等の集積本数(累計)(単位:本)



大学の共同研究・受託研究実績(単位:件)



IT・コンテンツ・バイオ企業及びコールセンター・ニュービジネスの誘致数(単位:件)

